学校番号	211

令和8年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校　改訂版　言語文化　（数研出版）						
副教材	新訂　総合国語便覧　2026（第一学習社） 総合国語便覧ワークノート（第一学習社） 新装版　新しい古典の学習　2in1スタイル　学ぶぞ　古文と漢文 （全国高等学校国語教育研究連合会） 新装版　新しい古典の学習　2in1スタイル　学ぶぞ　古文と漢文　基本練習ノート （全国高等学校国語教育研究連合会） 入試対策ベストセレクション古文単語 325 改訂版（尚文出版） 改訂版 【一問一答】日本文学史ノート（桐原書店）						

1 担当者からのメッセージ

・1年間で、基礎的な言語文化の知識と、論理的な表現力を身に付けましょう。
・文章記述、話し合い、発表などは主体的に取り組みましょう。
・言語文化の時間は古文や漢文に親しみ、読み味わいましょう。
・予習と復習により、学習内容の定着を図りましょう。
・集中して勉強し、定期考査で基本的学力の定着の機会にしましょう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその主旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4. 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価基準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古典の文章にふれる 【教材】 宇治拾遺物語 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」	a. 歴史的仮名遣いや古今異義語について文語のきまりを理解する。 a. 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b. (読)古典の文章に触れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 b. (読)説話というジャンルを踏まえて内容や展開を捉える。 c. 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	古典の文章に慣れる 【教材】 伊勢物語 「芥川」 「東下り」	a. 主として動詞、形容詞、形容動詞の活用について、文語の決まりを理解する。 a. 和歌の修辞技法を理解している。 b. (読)古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 b. 登場人物の関係や物語の展開に注意し、内容を正確に読み取っている。 b. 和歌における「男」の心情を捉え、記述することができる。 c. 文の構成単位を理解し、学習の見通しをもって文を文節や単語に分けようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
2学期	日記文学を読む 【教材】 土佐日記 「門出」	a. 助動詞や助詞の識別、呼応の副詞の基本的な意味や文法事項を理解している。 a. 月の異名、時刻の表し方など、古典常識について理解している。 b. 女性仮託の理由を理解し、また、本文の表現上の工夫を理解し、倣った表現を用いて文章を書いている。 c. 古典に関する知識について、関心を持って調べ、本文に表現された世界を深く理解しようとしている。 c. 周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	古今の随筆を読み比べる 【教材】 「枕草子」 「徒然草」	a. 主に助動詞の働きについて理解する。 a. これまでの古文学習の知識を生かし、描かれている人物に注目して本文を理解する。 b. (書)作品に表れたものの見方、美意識を理解し、学習課題にそって自分の考えをまとめようとする。 c. 積極的に現代の随筆作品に触れ、古来からの我が国の言語文化について理解しようとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート

	古今の韻文を味わう 【教材】 「和歌」「漢詩」 「現代詩」「短歌」 「俳句」	a. それぞれの韻文の決まりや修辞を理解する。 b. (読)和漢それぞれの韻文・詩の特徴をふまえ、鑑賞のしかたを理解し代表的な作品を味わう。 b. (話)(読)音読することで韻文のリズムを読み、味わう。 c. 繰り返し音読し、積極的に韻文のリズムを理解しようとする。 c. 積極的にリズムのある韻文を作り、鑑賞しあおうとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
3学期	漢文の学習 【教材】 漢文「入門一・二」 訓読・再読文字・助字・置き字」・「漁夫之利」	a. 漢文を訓読するための基礎知識として返り点の種類と使い方を習得する。 a. 漢文を訓読するための基礎知識として、助字、再読文字の働き、読み方を習得する。 a. 故事成語や格言に多く触れることにより、語彙を豊かにする。 b. (読)漢文の内容を理解し、故事成語が成立した由来を理解する。 c. 学習した故事成語や格言を日常の言語活動の中で積極的に取り入れ、表現の幅を増やそうとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	古典のしるべ 【教材】平家物語 「祇園精舎」 「木曽の最期」	a. 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 a. 主に敬語について文語の決まりを理解する。 b. (読)合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 b(読)「軍記物語」という種類を踏まえ、作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え理解する。 b. (話/聞)群読で工夫して作品世界を表現する。 c. 文体や歴史的背景を踏まえて本文を読み、自分の考えを表現しようとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート

年間の各領域時間数
・書くこと〔10時間〕
・読むこと〔40時間〕
・読むこと(近代以降)〔20時間〕